

令和7年度 第4回大牟田市地域包括支援センター運営協議会 摘録

<日 時>令和8年3月26日(木) 午後1時半から午後3時半

<会 場>大牟田市役所職員会館 第2・3会議室

<出席者>中尾会長、富安副会長、橋口委員、三澤委員、西坂委員、近藤委員、中村委員、田尻委員、  
中川委員、永江委員

<会議次第>別紙のとおり

<議 事>

1. 議題

議題1 令和8年度地域包括支援センター重点目標(案)

●事務局より資料に基づいて説明

(質疑)

会 長：令和8年度の重点目標として、新たに盛り込んだ項目はあるか。

事務局：資料1、6ページ「7. 生活支援体制整備事業」について、(3)の内容を令和8年度新たに設定した。包括支援センターに配置している、生活支援コーディネーターが中心となって、地域課題の解決に向けた取り組み、地域住民等に働きかけている取り組みについて、評価するものである。また、これまで、地域力強化推進事業として、包括支援センターに共創サポーターが配置されていたが、事業の廃止に伴い、これまで共創サポーターが担ってきた役割を令和8年度からは、生活支援体制整備事業の中で実施していく。その内容をここで追記している。7ページ、「9. 地域包括支援センターの認知度向上」についても、新たに設定した項目である。

委 員：3ページ「2. 第1号介護予防支援事業(介護予防ケアマネジメント)(1)」の評価指標Bについて、「対象者の状態によって、できるだけ尊厳の保持、介護予防や社会参加の促進を意識している。」とあるが、「意識している。」で終わるのではなく、「意識し、対応している。」ということではないか。

事務局：ご指摘のとおりである。そのように改める。

委 員：6ページ「7. 生活支援体制整備事業(2)」の評価指標の中サービス・通いの場等の創出とあるが、具体的にどのような場を想定しているのか。

事務局：具体的な場としては、介護サービスで提供される、フォーマルサービス以外でも、本人にあったインフォーマルサービスが見つからない場合に、例えば、地域の事業者や、ほかの事業所、あるいは社会福祉協議会で取り組まれているキャロットサービス等も含めたところを想定している。

委 員：6ページ「7. 生活支援体制整備事業(1)」 「地域の社会資源の把握を行うとともに、把握・整理した地域の社会資源の情報を、地域活動を行う団体に共有し、」とあるが、地域活動を行う団体自体が、社会資源であると認識しているが、そういった団体間で情報を共有しているということか。

事務局：そうである。

委員：その他の社会資源としては、どのようなものがあるか。

事務局：食料品等の移動販売のサービスや、地域の中での課題となっていることに対応している事業所などがある。また、包括支援センターの相談窓口で利用できるよう、入所施設等の状況を把握し整理し活用する、などが挙げられる。

委員：5ページ「5. 地域ケア会議推進事業」について、「地域ケア会議の実施により、地域課題を明らかにし、解決に向け検討している。」とあるが、地域ケア会議は、年に2回ほど開催されている地域ケア会議を指すのか。

事務局：ここでの地域ケア会議は個別会議を想定しており、各地域包括支援センターが主催で年に6回程度開催している。その会議を通して地域課題を明らかにし、解決に向けて検討する、ということである。

会長：他に意見がないようなら、当協議会として承認する。

## 議題2 令和8年度地域包括支援センター事業計画（案）

### ●各地区の包括支援センター管理者より資料に基づいて説明

（質疑）

委員：地域包括支援センターが担っている事業は多岐にわたっており、ケアマネジャー等専門職の方に、地域包括支援センターの機能が伝わっていないところがあるのではないかと。市民の方に啓発すると共に、専門職の方への啓発も継続していただきたい。また、地域ケア会議の運営の在り方について、より活用し市民が生活しやすい状況を作れるよう引き続きお願いしたい。

委員：説明の中で、企業を中心に働く場の提供する、とあったが、新しい視点であり、よい取り組みだと考える。学生に授業の中で、地域包括支援センターの役割等を教えることがあり、その中で、要望に応じて紹介や、資料の配布等協力できることがあるかと思うので、お声かけいただきたい。

包括：人材不足は医療関係だけではなく、企業側の人材確保、維持の観点から、従業員でなくてもできるような業務を教えてもらい、働く場を提供いただくなどの方法を考えている。若年層への地域包括支援センターの周知については、是非ご協力をお願いしたい。

会長：包括支援センター職員間で、前日受けた相談等について、情報共有する時間をとり、振り返り等を行っているとおあったが、昨年度から新たに取り組んだのか。

包括：以前からの取り組みである。相談内容には複合的な課題があり、内容が様々である。情報を共有し、検討するため、毎朝時間を設けている。

委員：民生委員からの相談はどのくらいあるか。

包括：民生委員の方からは、窓口やお電話等でご相談をいただき連携をとらせていただいている。令和7年度の相談内容としては、安否確認のご連絡や、認知症をお持ちの方に関するご相談をいただくことが多かったと感じている。連携して対応を行った。

包括：地域ケア会議にご出席いただき、その中で情報共有等を行っている。

会長：他に意見がないようなら、当協議会として承認する。

議題3 令和8年度地域包括支援センター事業予算（案）

●事務局より資料に基づいて説明

（質疑）

なし

会 長：意見がないようなら、当協議会として承認する。

議題4 令和8年度介護予防及び介護予防ケアマネジメント業務委託契約先（案）

●事務局より資料に基づいて説明

（質疑）

なし

会 長：意見がないようなら、当協議会として承認する。

議題5 令和8年度基幹型地域包括支援センターの実施計画（案）

●事務局より資料に基づいて説明

（質疑）

委 員：4ページ②第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）について昨年度より見直しがあっているのか。

事務局：令和8年度の新規事業である、短期集中予防サービス事業の実施に伴い、その取り組みについて、新たに実施計画に記載している。

会 長：他に意見がないようなら、当協議会として承認する。

2. 報告

報告1 令和8年度におけるサブセンターについて

（質疑）

なし。

●事務局より資料に基づいて説明

（質疑）

報告2 大牟田市地域包括支援センター設置運営等業務公募型プロポーザルの実施に係る経過等について

●事務局より説明

（質疑）

なし。

以上